



なぜ 未来の街のイメージは、 鉄筋コンクリートの 建物ばかりなんだろう。

漫画も映画もそう言えばそうだ。
超高層ビルに、張りめぐらされた高速道路。
でも2050年の脱炭素社会では、
鉄やコンクリートよりも木材に分があるようだ。
木造はRC造に比べ、
建てるときのCO2排出量が少ない。
森林で吸収し、炭素を何十年も
固定したまま建物でいてくれる。
木造の小学校では、木の調湿効果で
インフルエンザが減ったと言う。
なんかいいなと思っていた木には、
科学的根拠と脱炭素の解決がある。
自然が培ってきた、環境に無理のない答え。
いつものオフィスビルが木造になったら、
街は森になっていく。
いよいよ別の物語のスタートだ。

2022年、建築材から脱炭素をやる。

森が動くと、経済が動く。

 住友林業